令和７年１月度 理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　令和６年１２月２日（月）
２．開 催 日 時　令和７年１月２４日（金）　１３時００分～１４時２０分
３．開 催 場 所　東京都港区芝２丁目５番２号　東京グランドホテル ４階「藤の間」
４．理 事 総 数　２３人
５．監 事 総 数　３人
６．出席理事数　１６人（本人出席１６人）
７．出席監事数　３人（本人出席　３人）
８．出席理事の氏名

嶋崎 利行、曽根 光彰、南　直樹、玉木 寛之、安室 篤志、田村 大輔、池田 隆久、二瓶　啓、上島　健、秋山 正稔、横山 聡洋、竹内 博次、秦　研二、藤田 亮則、川村 道夫、後藤 章洋

９．出席監事の氏名

熊木　宏、近藤 恭二、山口 直延

１０．出席組合員の氏名

出席組合員はいない

１１．議長の氏名

嶋崎 利行

１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、嶋崎理事長が議長となり開会を宣し、ただちに議事に入った。

第１号議案　新規加入賛助会員について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、加入申込みのあった新規加入賛助会員について資料に基づき、報告があった。南副理事長からの紹介で１月１４日に組合の説明に行き、すぐに２月１日付で組合員数７９社、賛助会員数４２社、計１２１社になることの説明があった。

賛助会員　株式会社アイ・ピー・エル　　加入年月日：令和７年２月１日
代表取締役　吉川　実
〒243-0018 神奈川県厚木市中町 4 丁目 9 番 17 号
TEL：046-295-3971　FAX：046-295-3974
資 本 金　1,000 万円、常時雇用従業　41 名
事業内容　動画配信サービスの提供
コンピュータソフトウェアの開発
技術者派遣・受託事業

嶋崎議長は、賛助会員の加入ついて議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第２号議案　令和７年新年賀詞交歓会式次第について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、新年賀詞交歓会の次第及び懇親会参加者名簿について説明があった。理事会終了後の予定については下記の通り。

１４：３０～１５：２０　賛助会員 PR 会（中外炉工業㈱、㈱不二越）

１５：３０～１６：５０　講演会（講師：テラスケープ合同会社 代表 足立 聖昭 氏）

※東京都中小企業団体中央会 団体連携型 DX 人材育成推進事業助成金を活用

１７：００～１９：００　懇親会

祝辞：関東経済産業局　小澤産業部長

東京都産業労働局　中島課長

日本熱処理技術協会　豊田専務理事

東京都中小企業団体中央会　小野塚事務局次長

嶋崎議長から、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第３号議案　令和７年度事業計画案ならびに組合スケジュールについて

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、令和７年度事業計画案について説明があった。主な内容は次の通り

・第５４回通常総会［令和７年５月２２日（木）、レベル２１東京會舘］
・新年賀詞交歓会［令和８年１月、会場検討中］
・正副理事長会・理事会は年６回開催予定、監査会１回
・技術委員会並びに品質委員会マーケティング委員会は年５回開催予定、総務委員会は、年４回開催予定
・BCP推進WGは、参加企業２０社で実績を積み上げる
・青年部会は年３回開催予定、組合まつりへの出展、出前授業の実施

嶋崎議長から、前段の正副理事長会で検討した「初級熱処理塾」について協議したい旨述べられ、安室専務理事から、技術及び品質委員会で検討した内容について資料に基づき説明があった。主な内容については、次の通り。

・「初級熱処理塾」
　・４月に月～金５日×２週＝１０日間、ハイブリッド型で実施していた。昨年から受講者の大幅な減少があり、今年度は、受講者が８名と特に少なかったため、急遽オンライン型で開催した。新入社員にとって１日中パソコンの前に座っているのが厳しいと意見があった。
　　→　２日間×５週＝１０日間として、９月２５日（木）、２６日（金）～毎週木金×５週間＝１０日間で実施計画。
　・同時に学び直しのための「スポット受講」の実施についても検討し、科目によって半日とか１日単位での受講。本コースの受講者よりは、受講料を割高に設定する。

藤田理事（技術委員長）から、一昨年から検討を始め、実務を経験してから受講した方が身に付くのではないかということから開催時期の変更と月～金の連続５日間開催の見直しの２点について検討した結果、４月から９月へ開催時期の変更と木金の週２日間の開催になったことの説明があった。スポット受講については、過去に初級熱処理塾を受講した方に限らずに受講できるように考えていると説明があった。

嶋崎議長から、以前スポット受講について話があり、当時は受講者も多かったが、新入社員を獲得することが難しい状況にある背景があり、初級熱処理塾の在り方を見直しする局面に来ているかもしれない。新入社員を対象として社会人としての心構えから入って、熱処理

の仕事をするための礎の形であったが、参加人員の減少やオンラインでの受講を取り入れなければならなくなったことや直近の状況もあり、初級熱処理塾の発展的な向上として考えた時に４月から９月に開催時期を変えることやスポット受講の実施や一度受講した方以外にも受講を認めるのか、元々の開催意義を踏まえて意見が求められた。

後藤理事から、新卒の新入社員を対象と理解していたが、中途採用でも対象にならないのかと質問があり、安室専務理事から、新入社員に準ずる方も対象としていることの説明があった。厚生労働省の助成金（人材開発支援助成金）は、新入社員に関して入社後２週間以内に教育を始めるという条件があったが、令和５年に利用しやすくするために見直しされ、条件が緩和されたことも説明があった。

嶋崎議長から、階層毎の教育訓練体系の構築を行って来て、初級熱処理塾は新入社員を主体としたが、熱処理に初めて関わる方も対象としている。その他中級熱処理塾や実践型熱処理塾や技能検定試験受験対策講習会、中核人材育成講座があり、組合のプログラムに沿って人材育成の一助にしてもらって来たが、初級熱処理塾の概念含めて大きく変えることについてどうなのかの意見を求めている。技術委員会としてスポット受講は、過去に受講した方でなくても受けられるようしたらどうかという今までの主旨に反する形の意見が多いと感じている。

後藤理事から、修了証の発行について質問があり、安室専務理事から、１０日間受けた方には理事長名で発行していることの回答があり、後藤理事から、１０日間受講することがベースになるのではないかと述べられた。

嶋崎議長から、受講者同士の繋がりも生まれるケースがあり、人材の定着に繋がることにもなると述べられた。

上島理事から、新入社員またはそれに準ずる方を対象とするのであれば、会社側が受講させるかどうかを決定するのではないかと思う。中堅の人材であれば、本人に判断をさせると思う。

嶋崎議長から、企業側で決めるのならば、なおさら理事会での承認が必要だと述べられた。

田村理事から、スポット受講は実際に自社社員からも要望があるので賛成だが、いきなり門戸を広げるのでなくて、初めは受講経験者から対象にしたら良いのではないか。また週２日間のプログラムの方が受講者の集中力が違うので良いと思うと述べられた。

上島理事から、新入社員の心構えが無くなると、それを自社で考えないといけないが、組合の方針であればそれで良いと考えている。

田村理事から、オンラインでも受講が可能だと思う。

嶋崎議長から、４月に行うので意味があったと思うと述べられた。

川村理事から、心構えについては、新入社員に社外講習を受講させていると説明があった。熱処理のカリキュラムについては、新入社員にとって勉強になるので続けてもらいたいが、１０日間は厳しいと感じている。スポット受講については、誰でも受けられるようにした方が良いと思うと述べられた。

嶋崎議長から、理事会として採決したいと説明があり、開催時期を春から秋に変更することについて決が採られ、全員異議なく承認された。

続いて、スポット受講について多数決が行われた。結果は下記の通り。

過去の受講者に限定することに賛成：８名

誰でも受講できるようにすることに賛成：９名

棄権：１名（理事会に一任する）

竹内理事から、受講させるのは企業の方針になる。本人の意見を聞いて受けさせるかどうかを企業が判断することが大事だと述べられた。

上島理事からスポット受講の場合の修了証の発行について質問があり、嶋崎議長から、自身の考えでは発行しない方が良いと考えている。全科目受講してもらえれば良いと思う。

横山理事から、スポット受講の場合、科目によって２日、１日、半日と設定してあるが、技術委員会に一任で良いのかと質問があり、資料に基づきカリキュラム案について確認した。

秋山理事から、熱処理を学ぶ前については、秋の開催となると各企業で既に教育をされていると考えているので、省く予定でいること、安室専務理事から、初日に受講者同士のコミュニケーションを図る目的でグールプ討議を予定していることの説明があった。

嶋崎議長から、技術委員会に一任して欲しいということで良いのかと確認があった。

安室専務理事から、４月の初級熱処理塾に変わる新入社員向けの１日の体験型講習会の計画があることについて説明があり、藤田理事から、資料に基づき具体的な内容について説明があった。内容は下記の通り。

・初級熱処理塾の内容が新入社員には難しいこと。
・初級熱処理塾の１日目の内容を体験型の講習会として行う。
・新入社員の他、中途採用の方、総務などの管理部門の方も対象としたい。
・テスト炉を使ってテストピースの「焼入れ」、「焼戻し」を行い、組織の変化を観察して体験してもらう内容。
・熱処理に興味を持ってもらうことを目的にしている。

嶋崎議長から、かなり内容が高度な感じがするので、知識が無い者にとっては難しいのはないかと質問があり、藤田理事から、細かな部分は講師やサポートメンバーで事前に出来た物を用意しておいて行いたいと考えていて、必ず「焼入れ」「硬さの測定」「組織の観察」の体験をしてもらうことを考えていると説明があった。

嶋崎議長から、内容について意見が求められた。

田村理事から、自社で熱処理に携わらない総務や生産管理等の女性も技能士の資格を取得しているが、実際に熱処理の経験が無いので、新入社員に限定せずに門戸を広げて欲しいと考えている。自社でも新入社員研修の中で熱処理や引張試験等の体験をすることで、実務に入り易くなっていると思っている。

後藤理事から、予算的なものを検討しないといけないのではないかと質問があり、安室専務理事から、会場予定の東京都立産業技術センターの見積では５、６万円となっていることと受講料の徴収も予定していることの説明があった。

田村理事から、東京都の助成金を活用できるのではないかと意見があった。

嶋崎議長から、活用できる助成金は利用することを前提とするように指示があった。

嶋崎議長は、４月にトライアル的に実施することについて議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第４号議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、昨年１１月に報告した第１回目の「出前授業」について資料に基づき説明があった。主な内容は下記の通り。

・日時：令和６年１２月１１日（水）１３：３０～１４：２０（５０分授業）
・対象：東京都立多摩工科高等学校　デュアルシステム科　１年Ｆ組３２名
・会場：化学実験室
・前半：座学、後半：実習（ピアノ線の「焼入れ」「焼戻し」）

・参加メンバー：嶋崎理事長、玉木副理事長、山田部会長、横山副部会長、
熊木副部会長、田村前部会長、藤田メンバー、吉池メンバー、安室
・生徒のアンケート結果は好評で、先生からも「ちょうど良い」「効果がある」との回答。
・今後の展開としては、各地域そして各社で実施できるように展開したいと考え、そのためのルール作りを行い、各社のリクルートに繋がればと考えている。

横山副部会長から、生徒のアンケートから来年もあった方が良いと９割以上の回答を得ているので、来年も実施したいと考えていると述べられた。

嶋崎議長から、継続して続けて行きたいと述べられ、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第５号議案　各委員会等の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、技術・品質合同委員会の活動状況については、第４号議案で検討したことの説明があり、今後の予定について説明があった。

嶋崎議長は、委員会活動について議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第６号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、令和７年度（第９期）東京科学大学製造中核人材育成講座「金属熱処理スーパーマイスタープログラム」が受講者募集中であることの説明があり、定員２０名に対して現在１３名の申込みとなっていて、開催には最低１６名の受講者が必要なので、あと３名の受講者派遣について協力依頼があった。

・組合員・賛助会員の異動について（令和６年１２月～令和７年１月）は該当なし
・外国人技能実習制度評価試験の東部エリアの実施状況について報告があった。

１月１６日（木）有限会社三和精密熱処理（試験監督者：秋山理事、全体熱処理２名）、２２日（水）株式会社シントー（試験監督者：横山理事、全体熱処理２名）

以上をもって、議案全部の審議を終了した。曽根副理事長より閉会を告げ散会した。

令和７年１月２４日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　嶋崎 利行　㊞

出席理事　曽根 光彰　㊞

〃　南　直樹　㊞

〃　玉木 寛之　㊞

〃　安室 篤志　㊞

〃　田村 大輔　㊞

出席理事　池田 隆久　㊞

〃　二瓶　啓　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　竹内 博次　㊞

〃　秦　研二　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

〃　川村 道夫　㊞

〃　後藤 章洋　㊞

出席監事　熊木　宏　㊞

〃　近藤 恭二　㊞

〃　山口 直延　㊞